

熊本市住宅審議会 「暮らし」支援部会 議事録

<p>日時： 平成 25 年 10 月 31 日(木)15：00～17：00</p> <p>場所： 熊本市役所マスマチュアル生命ビル2階会議室</p> <p>出席者：西委員(部会長)、金澤委員、竹原委員、日隈委員、平塚委員</p> <p>次第：1 開会</p> <p>2 報告</p> <p>第1回熊本市住宅審議会の概要について</p> <p>3 議事①</p> <p>今年度の作業工程について</p> <p>4 議事②</p> <p>熊本市住生活基本計画（仮称）における住宅政策の課題や基本方針などについて</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p> <p>質疑：</p>	
部会長	まずは4つの基本方針と目標について議論したい。自分は表現があいまいでわかりにくいと思う。
委員	ライフステージのところで、民間はどういう役割があるのか。
事務局	これまでの住宅政策は、住宅困窮者への公営住宅の供給が主だったが、公営住宅の戸数も限られ行き渡らないため、民間住宅も活用して住宅セーフティネット全体を考えたいと思って分けている。例えば、高齢者向け住宅では、サービス付き高齢者向け住宅も増えている。
委員	ライフステージに対応するということがあるが、要配慮者の中には低所得者もいる。その人たちの住まいの確保と分ける必要がある。
委員	誰もが安心というところに低所得者も係ってくるので、現在の書き方では分け方が微妙か。また、小理念のところは「安定」よりも「安心」のほうがいいのではないか。
部会長	今の意見は、重層的という表現で逃げているように感じる。
委員	所得の高い人は自分の意思で住まいを選択できる。問題は低所得者で、こちらの話がより大切なことではないか。居住支援協議会への相談も低所得者が多い。ライフステージももちろん大事だと思う。
事務局	施策を民間と公営で分けているが、もともとは人で施策を分ける議論もした。しかし、結局施策が同じ取組になったので、建物で分けることとした。低所得者は目標で分けた方がいいのか。
委員	目標を枝番で分けるなど、別にした方がわかりやすいのではないか。一般の方の困窮者もいると思う。
部会長	ライフステージは意味が広すぎるのではないか。住むことに大変になったときに、安心できるかどうか重要。全体でなくターゲットを明確にすることも考えられる。
委員	ライフステージの取り方にもよるが、施策の項目を増やすことも考えられる。わかりやすい表現が第一になると思う。

委員	ライフステージでなく、「ニーズに対応した」にすればセーフティネットの確保など活かせるのではないか。
委員	全市民を対象として、将来に向けた住まいに対応する内容ということで捉えていいのか。市民の中には、ニーズのある人だけでなく、ニーズがない人もいる。そのため、施策を考えていくうえでニーズに対応するばかりではないと思う。一人ひとりの住まいの課題に対応することがニーズだと思うが、ライフステージは時系列なので、表現はニーズの方がまとめやすいと思う。「集う」と「支え合う」は一緒だと考えている。住むだけでなく何をするか、住み方が重要。孤独な方のニーズなども考えて、コミュニティの施策は重要。
部会長	小理念を「安定」でなく「安心」、目標1を「ライフステージに対応」ではなく「ニーズに対応」に変更することとしたい。
委員	障がい者などは施策から抜け落ちるときがある。目標2のように目標1も全ての人のニーズというふうにしてほしい。実際に、単身の障がい者からの相談が多い。
部会長	一人暮らしが増えているデータが必要。
委員	人口は減っているが世帯数は増えている。
委員	子どものいる世帯は減っているが、一人親世帯は増えている。
部会長	子どもができると地域と繋がるという社会でないという前提で考える必要がある。住生活がどの範囲のことを言っているのは一般にはわかりにくいのではないか。
事務局	表現については別の部会からも堅いという指摘があった。やわらかくするなら全体と通じてやる必要がある。
委員	心豊かな生活の実現なら一般的な表現か。施策も、心豊かなコミュニティの構築がいいのではないか。
部会長	住生活という表現が引っかかる。コミュニティやセーフティネットなども一般には範囲が分からない。想像できる用語がいい。例えば、セーフティネットでいえば、誰が関わるのか、本当にあるのか、不透明に書いているように見える。
委員	セーフティネットは国交省が言っているのか。
事務局	そうだが、一般の人にはわかりにくいか。
部会長	注釈を付けるなど。
委員	例えば、目標などをニーズ（想像しにくい用語）で括って、施策でわかりやすい表現にすればいい。
委員	施策は現在の取り組みとなっているが、今後という括りはないのか。
事務局	骨子では方向性のみで、具体的なものは来年度検討するが、参考として今年度の取り組みを載せている。
部会長	これまでのものは取り込んでいくということか。
事務局	継続する分は載せていく。
部会長	情報は全体的にかかるものではないか。
事務局	他の部会でも情報に関する取り組みを入れている。
部会長	手段は同じではないか。
事務局	同じであるが、いろいろな制度があるが、多くの人に分かっていただけていないという現状があり、部会で大事な情報を確認して頂き、対象と方法を考えたいと思っている。

部会長	こういうやり方、例えば民生委員に伝えるなど、考えた方がいいのか。
事務局	施策⑥が一般の方、施策⑦が事業者で分けているが、もっと細かく区切った方がいいか。
委員	地域包括支援センターでは、住み替え相談を受けている人もいるが、相談窓口はどこになるのか。ソーシャルワーカーもそういうことを現在の取り組みとして実施している。現在やっていることも取り入れて欲しい。
事務局	現状では市の全体の取り組みを網羅していない。
委員	不動産協会には、地域支援包括センターから問い合わせが来ており、その都度パンフレットを送っている。
委員	そこが施策④の住宅と福祉の連携か。
事務局	その通り。
委員	入居後だけでなく入居前の支援という視点も重要。また、現在の取組みをいえば、現行計画だけではない。
委員	災害時というのが気になる。大事な視点だが、括りが違うのではないか。
委員	災害時以前に被災時の住宅提供などの協定を結んでいる。セーフティネットの一部として、日頃から備えた体制づくり、前の段階のことを含んでいると思う。
委員	災害まで行かなくても、台風などで、一人で不安になっている方など、小さな災害もある。夜になって一人暮らしで不安を感じるなども個人的な災害。住むというなかではいろいろな局面での災害がある。
事務局	目標3は実際の災害だが、それ以外の取り組みは、施策③コミュニティの構築とC部会（まちづくり支援部会）の住環境にも入れているが、どちらにも入れていくことになる。地域的なことは施策③に入れていきたい。
委員	“安心”の括りの中に平常の時の支援とそれ以外の支援で括ればどうか。
委員	小理念の「被災」という言葉がマイナスのイメージが強い。万が一、日頃からの備えとしてはどうか。
委員	小理念と目標が一对一でなければ「安心」を平常と万が一に分けていいのではないか。
部会長	小理念は、他の部会との関係から、4つでないといけないのか。
事務局	4つのキーワードをまとめて文章にしていくので、4つでなくてもよい。
事務局	他の部会からも一对一でなくてもいいのではという意見が出ている。
委員	65歳以上の元気な高齢者の割合とは。
事務局	総合計画で位置づけている元気高齢者は、要介護認定を受けていない高齢者。
事務局	成果指標の考え方は、市総合計画、住宅・土地統計調査などの公のデータを使った方が継続できると思い、他都市の事例と一緒に参考として入れている。
委員	一般住宅も対象であれば、入居後の支援があるのはおかしい。
事務局	全体的な支援だったが、わかりにくかった。改める。
委員	65歳以上の括りがそろそろ75歳以上になりそうだ。
部会長	これまでの議論を含めて資料3の課題も議論したいが、何か意見があるか。誰もが安心して地域で生活できる、何かのニーズが出たときに支援体制が整っている、それを支える情報の提供の仕方になるような気がする。
委員	住宅というハコだけでなく、住まいというもっと広いものを対象としているということでもいいのか。また、高齢化社会でなく、もう高齢社会ではないか。

委員	「ひと」でなく「暮らし」の課題ではいけないのか。検討して欲しい。
部会長	「世帯ごとに細分化」はおかしいか。「世帯ごとにニーズを細かく見た」という方が正しいか。
委員	課題の②があるが、現況にある子育て世帯の減少が問題なのはどう抽出したのか。施策にどう繋がるかの考え方は。
委員	子育て世帯の減少は待機児童など、まちづくりの問題にもつながる。
部会長	出生率減少と子育て世帯への支援は繋げてはいけない。子育て世帯については、働きながら子育てできるなど、楽しく、ストレスを軽減することが重要。支え合いにつなげたい。
事務局	支援が必要な子育て世帯が増えているでいいか。
委員	①高齢社会なら、②少子化社会としてはどうか。前向きなビジョンを示す課題がいいと思う。
部会長	課題は具体的な文言を考えた方がいいのか。また、障がい者や困窮者など全てを挙げた方がいいのか。
事務局	総括なので、各カテゴリーがなくてもいい。次年度に施策ごとに詳細な課題を載せてもいい。今日の議論を踏まえ、ニーズ、安心の中の平時などの大きな括りでまとめ、その中に子育て世帯などが入ってくると考えている。
委員	骨子の構成では課題が2章の最後にくると思うが、それが3章の基本理念などに、どう繋がっているのか。
部会長	「支えあう」ということで大きく括ったということだと思う。
委員	それを展開したものが資料6か。どこにあたるのか。
事務局	一対一ではないので、課題①は目標1にも2にも入る。
委員	繋げるなら、安心して住むこと、知ることや情報、頼れる仲間などがあれば、すっと入ってくるのだが。検討して欲しい。
事務局	ニーズや安心などの言葉があった方が流れやすいと思う。考えたい。

以上